

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成25年11月12日
【四半期会計期間】	第57期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	扶桑化学工業株式会社
【英訳名】	FUSO CHEMICAL CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 赤澤 良太
【本店の所在の場所】	大阪府中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【最寄りの連絡場所】	大阪府中央区高麗橋四丁目3番10号
【電話番号】	06-6203-4771（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 武川 隆彦
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第56期 第2四半期連結 累計期間	第57期 第2四半期連結 累計期間	第56期
会計期間	自平成24年 4月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日	自平成24年 4月1日 至平成25年 3月31日
売上高(千円)	13,740,500	14,311,573	27,355,263
経常利益(千円)	1,777,583	1,444,083	3,231,723
四半期(当期)純利益(千円)	1,056,122	828,503	1,903,668
四半期包括利益又は包括利益(千円)	686,418	1,200,528	2,875,955
純資産額(千円)	21,310,856	24,509,699	23,404,086
総資産額(千円)	33,029,352	33,927,496	33,783,793
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	167.60	131.48	302.11
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.40	72.13	69.15
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,379,158	1,240,528	4,266,589
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	401,391	455,682	322,023
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	2,030,670	1,609,091	3,637,296
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	3,915,552	3,857,036	4,606,035

回次	第56期 第2四半期連結 会計期間	第57期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年 7月1日 至平成24年 9月30日	自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	81.39	67.15

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および連結子会社8社)が行っている事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクの内容について、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社および連結子会社）が判断したものです。

（1）経営成績の分析

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、政府による経済対策や日銀の大規模金融緩和などの効果により、円高の是正や株価上昇の兆しも見え、緩やかな回復基調となりました。一方、世界経済は、米国では緩やかな回復基調となったものの、アジア地域の伸び悩み、欧州財政金融問題や為替相場の変動などを背景に、依然として見通しは不透明な状況のまま推移しています。

このような状況のもとで、当社グループは、国内外の拠点間のネットワークを活かした販売活動の強化や顧客のニーズに合わせた商品開発に努めましたが、原料の高騰や円安によるコストの増加をカバーするには至りませんでした。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は143億11百万円（前年同期比4.2%増、5億71百万円増）となりました。しかし、営業利益は14億29百万円（同23.3%減、4億33百万円減）、経常利益は14億44百万円（同18.8%減、3億33百万円減）、四半期純利益は、8億28百万円（同21.6%減、2億27百万円減）となりました。

当社グループの報告セグメントの業績は、次のとおりです。

（ライフサイエンス事業）

ライフサイエンス事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が98億87百万円（前年同期比9.1%増、8億22百万円増）、営業利益は9億69百万円（同17.6%減、2億7百万円減）となりました。

国内においては、リンゴ酸、クエン酸をはじめとした果実酸類の拡販、復興需要による工業向け製品の販売増、および主要原料価格上昇に対応した販売価格改定に努めた結果、売上高は前年同期を上回りました。また、海外の連結子会社においては、中国の連結子会社である青島扶桑精製加工有限公司の外部販売が堅調だったことに加え、円安効果も加わり、円換算後の売上高は大きく増加しました。一方、営業利益は原料価格の上昇や輸入仕入価格の円安による影響を受け、前年同期比で減少しました。

（電子材料および機能性化学品事業）

電子材料および機能性化学品事業全体の業績は、外部顧客に対する売上高が44億23百万円（前年同期比5.4%減、2億51百万円減）、営業利益は8億26百万円（同20.8%減、2億16百万円減）となりました。

主力製品である超高純度コロイダルシリカ関連では、ナノパウダー等の新製品の販売や輸出における円安効果など増加要因もありましたが、半導体市況の低迷による取引先での生産・在庫調整の影響を受け、売上高・営業利益ともに前年同期比で減少しました。

（2）財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億43百万円増加し、339億27百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加によるものです。

負債については、前連結会計年度末に比べ9億61百万円減少し、94億17百万円となりました。これは主に、借入金の返済によるものです。

純資産については、前連結会計年度末に比べ11億5百万円増加し、245億9百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第 2 四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益の増加により取得した資金を長期借入金の返済に充てた結果、前連結会計年度末に比べ7億48百万円減少し、38億57百万円となりました。

当第 2 四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果取得した資金は12億40百万円（前年同期は23億79百万円の取得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益および減価償却費の発生によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億55百万円（前年同期は4億1百万円の使用）となりました。これは主に、有形固定資産を取得したためです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は16億9百万円（前年同期は20億30百万円の使用）となりました。これは主に、長期借入金の返済のためです。

(4) 事業上および財務上の対処すべき課題

当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの事業上および財務上の対処すべき課題に重要な変更および新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第 2 四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費の総額は2億18百万円です。

なお、当第 2 四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,000,000
計	19,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	6,302,200	6,302,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	6,302,200	6,302,200	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	6,302,200	-	1,180,367	-	1,667,042

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社壽世堂	大阪市中央区伏見町四丁目4番1号 日生伏見町ビル本館内	1,119	17.76
帝國製薬株式会社	香川県東かがわ市三本松567番地	665	10.56
赤澤 庄三	兵庫県宝塚市	617	9.79
大阪中小企業投資育成株式会社	大阪市北区中之島三丁目3番23号	320	5.08
有限会社帝産	香川県東かがわ市三本松567番地	275	4.36
株式会社日本触媒	大阪市中央区高麗橋四丁目1-1	237	3.77
株式会社百十四銀行	香川県高松市亀井町5番地の1	225	3.58
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB, UNITED KINGDOM	223	3.54
藤岡 実佐子	東京都目黒区	189	3.00
株式会社りそな銀行	大阪府大阪市中央区備後町2丁目2-1	158	2.51
計	-	4,030	63.96

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,299,700	62,997	-
単元未満株式	普通株式 1,400	-	-
発行済株式総数	6,302,200	-	-
総株主の議決権	-	62,997	-

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の合 計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
扶桑化学工業株式 会社	大阪市中央区高麗橋 四丁目3番10号	1,100	-	1,100	0.02
計	-	1,100	-	1,100	0.02

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,606,035	3,857,036
受取手形及び売掛金	¹ 7,198,458	¹ 7,089,338
商品及び製品	5,459,379	5,875,091
仕掛品	250,110	239,348
原材料及び貯蔵品	1,115,043	1,303,710
繰延税金資産	432,125	436,820
その他	257,316	408,085
貸倒引当金	5,387	5,310
流動資産合計	19,313,081	19,204,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,532,823	6,384,427
機械装置及び運搬具(純額)	2,420,116	2,860,494
土地	3,052,785	3,056,466
建設仮勘定	150,739	220,919
その他(純額)	414,503	431,882
有形固定資産合計	12,570,968	12,954,191
無形固定資産	386,563	378,143
投資その他の資産		
投資有価証券	693,302	744,615
長期前払費用	180,656	51,010
繰延税金資産	341,956	303,577
その他	421,990	421,174
貸倒引当金	124,727	129,337
投資その他の資産合計	1,513,178	1,391,041
固定資産合計	14,470,711	14,723,376
資産合計	33,783,793	33,927,496

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	¹ 1,282,029	¹ 1,757,162
短期借入金	3,047,900	2,341,650
未払金	894,539	1,257,381
未払法人税等	776,586	542,470
賞与引当金	312,346	331,047
役員賞与引当金	40,000	20,000
その他	616,344	523,789
流動負債合計	6,969,746	6,773,502
固定負債		
長期借入金	1,974,150	1,171,200
繰延税金負債	119,335	124,109
退職給付引当金	1,157,283	1,186,683
資産除去債務	9,417	9,417
その他	149,772	152,884
固定負債合計	3,409,960	2,644,295
負債合計	10,379,707	9,417,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,367	1,180,367
資本剰余金	1,667,042	1,667,042
利益剰余金	19,908,385	20,642,373
自己株式	2,840	2,840
株主資本合計	22,752,954	23,486,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,662	263,628
繰延ヘッジ損益	-	1,288
為替換算調整勘定	380,015	719,694
その他の包括利益累計額合計	608,678	984,610
少数株主持分	42,452	38,146
純資産合計	23,404,086	24,509,699
負債純資産合計	33,783,793	33,927,496

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	13,740,500	14,311,573
売上原価	8,358,970	9,318,152
売上総利益	5,381,530	4,993,421
販売費及び一般管理費	¹ 3,518,066	¹ 3,563,778
営業利益	1,863,463	1,429,643
営業外収益		
受取利息	7,351	4,532
受取配当金	9,651	9,592
受取手数料	5,325	7,376
為替差益	-	14,723
その他	15,223	15,979
営業外収益合計	37,552	52,205
営業外費用		
支払利息	62,413	35,653
為替差損	48,342	-
その他	12,676	2,111
営業外費用合計	123,432	37,765
経常利益	1,777,583	1,444,083
特別利益		
固定資産売却益	393	414
特別利益合計	393	414
特別損失		
固定資産除却損	4,377	4,803
投資有価証券評価損	6,242	5,389
課徴金	² 52,622	-
特別損失合計	63,242	10,193
税金等調整前四半期純利益	1,714,734	1,434,304
法人税、住民税及び事業税	668,241	594,484
法人税等調整額	6,963	15,222
法人税等合計	661,277	609,707
少数株主損益調整前四半期純利益	1,053,457	824,597
少数株主損失()	2,665	3,905
四半期純利益	1,056,122	828,503

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,053,457	824,597
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,323	34,965
繰延ヘッジ損益	-	1,288
為替換算調整勘定	354,715	339,678
その他の包括利益合計	367,038	375,931
四半期包括利益	686,418	1,200,528
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	689,083	1,204,434
少数株主に係る四半期包括利益	2,665	3,905

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,714,734	1,434,304
減価償却費	790,841	767,574
のれん償却額	8,312	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,011	231
賞与引当金の増減額(は減少)	45,588	17,598
役員賞与引当金の増減額(は減少)	20,000	20,000
退職給付引当金の増減額(は減少)	32,025	40,459
受取利息及び受取配当金	17,002	14,125
支払利息	62,413	35,653
為替差損益(は益)	16,148	17,093
固定資産売却損益(は益)	393	414
固定資産除却損	4,377	4,803
投資有価証券評価損益(は益)	6,242	5,389
売上債権の増減額(は増加)	118,135	169,384
たな卸資産の増減額(は増加)	85,502	482,643
仕入債務の増減額(は減少)	10,304	456,444
未払金の増減額(は減少)	12,263	55,882
長期未払金の増減額(は減少)	-	2,790
その他	48,667	178,107
小計	2,496,371	2,160,324
利息及び配当金の受取額	14,927	12,909
利息の支払額	59,089	34,364
法人税等の支払額	73,050	898,341
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,379,158	1,240,528
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	361,754	404,982
有形固定資産の売却による収入	654	414
無形固定資産の取得による支出	18,504	32,587
投資有価証券の取得による支出	2,586	2,639
長期貸付けによる支出	150	-
長期貸付金の回収による収入	360	205
その他	19,410	16,092
投資活動によるキャッシュ・フロー	401,391	455,682
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	1,930,500	1,509,200
配当金の支払額	94,474	94,195
少数株主への配当金の支払額	400	400
リース債務の返済による支出	5,295	5,295
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,030,670	1,609,091
現金及び現金同等物に係る換算差額	88,834	75,246
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	141,737	748,999
現金及び現金同等物の期首残高	4,057,290	4,606,035
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 3,915,552	¹ 3,857,036

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間において、重要な変更はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理をしています。なお、前連結会計年度の末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日の残高に含まれています。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	214,065千円	-千円
支払手形	1,167	-

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
運搬費	545,493千円	560,464千円
給与手当	822,463	844,976
賞与引当金繰入額	177,983	185,438
役員賞与引当金繰入額	20,000	20,000
退職給付費用	42,582	39,200
減価償却費	175,853	157,867

2 課徴金

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

中国において法令に関する認識の相違により課せられたものです。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	3,978,294千円	3,857,036千円
預入期間が3か月を超える定期預金	62,741	-
現金及び現金同等物	3,915,552	3,857,036

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	94,516	15	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月1日 取締役会	普通株式	94,516	15	平成24年9月30日	平成24年12月7日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月21日 定時株主総会	普通株式	94,515	15	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月5日 取締役会	普通株式	94,515	15	平成25年9月30日	平成25年12月10日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,065,240	4,675,260	13,740,500	-	13,740,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,710	1,794	8,504	8,504	-
計	9,071,951	4,677,054	13,749,005	8,504	13,740,500
セグメント利益	1,177,211	1,043,323	2,220,534	357,070	1,863,463

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
 368,244千円、その他11,174千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ライフサイエ ンス事業	電子材料お よび機能性 化学品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,887,739	4,423,834	14,311,573	-	14,311,573
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,513	102	8,616	8,616	-
計	9,896,253	4,423,937	14,320,190	8,616	14,311,573
セグメント利益	969,683	826,710	1,796,393	366,750	1,429,643

(注)1. セグメント利益の調整額には、提出会社の総務部門・経理部門等、一般管理部門に係る費用
 379,284千円、その他12,534千円が含まれています。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(金融商品関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動はありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成25年9月30日)

ヘッジ会計が適用されないデリバティブ取引の残高はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成25年7月1日至平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	167円60銭	131円48銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,056,122	828,503
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,056,122	828,503
普通株式の期中平均株式数(株)	6,301,114	6,301,046

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月5日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 中間配当による配当金の総額.....94,515千円

(ロ) 1株当たりの金額.....15円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月10日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払いを行います。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月12日

扶桑化学工業株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 井上 正彦 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 上田 美穂 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている扶桑化学工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、扶桑化学工業株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。